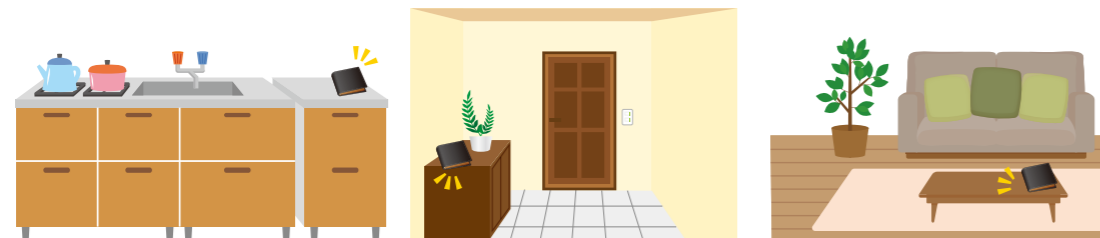


## 印鑑・通帳・財布を置き忘れる、場所を忘れる場合

大事なものを置く場所に一緒に置いておく	<input type="checkbox"/> 大切なもののバッグを作る <input type="checkbox"/> いつも置いておく場所を知っておいて「○○にない？」と伝える <b>POINT!</b> 大切なもののバッグは、いつも使っていて、これは自分のものだとご本人が認識できるバッグにすることをお勧めします。
探す場所を伝える	<input type="checkbox"/> 「○○は探した？」といつも置いてある場所を伝える <b>POINT!</b> 普段からご本人の行動パターンを見ておいて、よく物を置き忘れる場所を共有します。ホームヘルパーがご本人の行動パターンを見ていることあるので、相談してみるのも良いかもしれません。
困ったことがないか様子を見て対応する	<input type="checkbox"/> 「困ったことない？」と尋ねてみる <input type="checkbox"/> 本人とよく話をしてみる <b>POINT!</b> ものを置き忘れると、困ることが増えるので、置忘れをきっかけに、いろいろな不安が生じているかもしれません。不安を聞いて対応すると安心につながることがあります。よく話をすることで不安が軽減することもあります。
負担を軽くする	<input type="checkbox"/> 再発行など負担のない方法をえらぶ <b>POINT!</b> 置き忘れて、なくしてしまった後の対応です。誰がを責めないようにして、再発行や手続きをどう進めるかを一緒に考えるのは一つの方法です。
分かりやすい置き場所を決めておく	<input type="checkbox"/> 財布の置き場所を話し合っ決めておく <b>POINT!</b> 本人の目につきやすいところに置く、行動パターンを考慮した上で置いておくなどの工夫ができます。本人・家族と一緒に考えると良いでしょう。
自立支援事業を利用する	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会に行き、自立支援事業が使えるか相談する <b>POINT!</b> 必ずしも一人で抱え込まずに、社会福祉協議会に行き、自立支援事業が使えるか相談してみることも一つの選択肢です。在庫管理や買い物の工夫について一緒に考えてもらえることがあります。



本冊子は、国立研究法人「医療研究開発機構（AMED）」の認知症開発研究費「血液バイオマーカーと神経画像検査による BPSD の生物学的基盤の解明、および認知症者の層別化に基づいた BPSD ケア・介入手法の開発研究」の分担研究「BPSD ケアレジ研究と J-BIRD-PNB における非生物学的収集項目決定と質管理」の成果物として作成しました。

本冊子の作成にあたっては、認知症介護研究・研修仙台センター開発「初めての認知症介護」の構成を参考にしました。

発行：認知症介護研究・研修東京センター

# 笑顔で過ごしたい 認知症の人と家族のための暮らし方のヒント



## ④ものを置き忘れる時には？

こんな場面  
ありませんか？

- ・メガネを置き忘れる
- ・財布や通帳を置き忘れる



この冊子では、現場での実践や支援の知を参考に認知症の人と家族がともに暮らすときのヒントをまとめています。

■順番に読む必要はありません。気になるところから使えます。

■すべてを行う必要はありません。合うものだけ選べます。

■うまくいかないときは、やり方を変えても大丈夫です

# Q. どうして置き忘れることがあるの？



## A1. 記憶力や注意力が低下するため

認知症が進むと徐々に、記憶力や注意力が低下します。例えば本人が何かしている時に、隣の部屋で物音がすると気になってしまい、それまでしていたことから注意がそれて、それまでしていたことを忘れる、といったことが起こります。結果、ものを置き忘れることにつながります。

### 試してみたいこと

#### 一つずつ行動する

一つの動作をしているときに別のことをすると注意がそれて置き忘れたりします。何かしているときは、そのことに集中するようにします。

#### 落ち着いた環境を作る

物音や視覚刺激（動くもの、光っているものなど刺激になるもの）が多いと、注意がそれることがあります。気になるものが減ると集中出来て、置き忘れなどが減ることがあります。

#### 忘れてもいいようにする

一度なくしたものはまたなくす可能性があるため、安いものを複数用意したりします。

#### 一緒に探す

探し物について、お話ししながら一緒に探すと、ないものが見つからなくても、お話できたことで気分が落ち着くこともあります。

### おすすめしない伝え方



■「また、ないの?」「ちゃんと探したの」などと言う。

このように言うとご本人ががっかりしたり、余計に腹を立てたりして、不安定になることがあります。

### 試してみたいこと

#### メガネや補聴器、入れ歯を置き忘れる場合

一緒に探す	<input type="checkbox"/> 何をしていたかなど話をしながら一緒に探す <b>POINT!</b> 不安になっている場合、一緒に探すと話もできて、気分が落ち着くことがあります。
無理に探さない	<input type="checkbox"/> 無理に探さず、100円ショップ等で買いなおす <b>POINT!</b> 無理に探さず、家族としての負担軽減を考えるのも一つの選択肢でしょう。
パターンを振り返る	<input type="checkbox"/> 見つけた場所のメモをしておいてパターンを探る <input type="checkbox"/> 生活動線（移動のパターン）に沿って探す <b>POINT!</b> 大切なものは、布団を入れた押し入れの奥にしまう、などパターンを振り返ると対応しやすいことがあります。

谷折り

これも書いておこうかしら

メガネがあったのは薬箱の中と洗面所とタンスの中だったわ。

